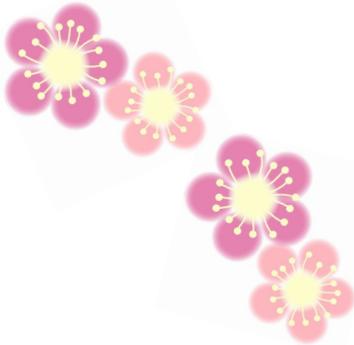




TAKING OFF

大阪学院大学／大阪学院短期大学
国際センター ニュースレター

Vol. 15 Winter, 2012



1. 派遣交換留学生35名決定！

毎年この時期、新しい交換留学生の選考をします。昨年は11名と、ここ数年では一番少ない派遣人数でしたが、今年は2010年の30名を上回るこれまでに最高の35名が交換留学生として選ばれました。この夏から秋にかけて、学生たちはアメリカ、カナダ、フランス、ドイツ、スウェーデン、オランダ、中国、台湾、韓国、オーストラリアに向けて出発していきます。

さらに、国際センターでは、昨年からの交換留学予定者を対象に、週1回「Global Learning」という科目

を開講しています。この授業では、自分から積極的に発言したり、クラスメートの前でプレゼンテーションをしたりすることが求められる海外での授業に対応できるように、4ヶ月かけて準備をしていきます。

留学は思ってもいなかった困難に直面することも多いです。でも、それは日本においては体験することのできない、まさにPricelessなものです。そして行ってみてこそ、初めてその価値がわかるのではないのでしょうか。来年は、この35名の先輩たちに続く学生がさらに増えることを期待します。

2. 派遣留学生レポート:

柏木 彩未 (外国語学部2年次生)

昨年8月と9月に11名の学生たちを交換留学に送り出してから、すでに8ヶ月近くが経過しようとしています。海外での慣れない留学生活の中で、それぞれが困難を乗り越える方法を模索し、自分の目標を見出し、一生懸命がんばっています。柏木さんは、ドイツのトリア大学へ2学期間の留学をしています。トリア大学では、ドイツ語のみならず、グローバル言語となっている英語の習得も目指して日々努力を重ねています。何事にも前向きに取り組む姿勢を忘れない柏木さんは、これから留学を目指す学生たちの手本ともなるべき学生ではないでしょうか。

“新しい自分に出会う”

私がドイツでの留学生生活をスタートさせて、はや半年(2012年2月現在)が経とうとしています。私が留学しているのは、ルクセンブルクとの国境近くに位置する人口10万人ほどのトリアという街にあるトリア大学です。

「ドイツに行ってもなんとかやっていけるやろう!」と思っていた私ですが、ここに来た当初は、環境大国のドイツのスーパーマーケットでは買い物袋の持参が当たり前なこと、ペットボトルの飲料水を購入する時に、商品の値段+ボトルの値段(約25セント)を支払わないといけないことなど、何もかもわからない事ばかりで、たくさんの人たちに助けってもらったことを覚えています。日本で想像していたドイツは、留学して自分の目で見た実際のドイツとは全く違いました。ドイツの大学で勉強をすることも、ドイツ人の友だちとサッカー観戦をすることも、ドイツの文化に直に



(上)旅行で行ったベルリンで、(下)ドイツ語クラスの先生とクラスメートたちと(本人右から6人目)

目次:

今、アジアが熱い! ~
アジアで活躍する卒業生たち 2-3

私のOGI生活:
李 宜軒 (台湾) 3

今後の短期留学生受入れ
プログラム 3

I-Chat Lounge
TOEIC Center新設 4

平成24年度夏期海外研修
募集 4

国際センター News 4



触れることもドイツでしかできないことです。また、留学では、日本ではできない感性の磨き方ができますし、色々な人と話す事で視野も広がって、いろんな視点から物事を考えることもできるようになります。自分の可能性をどんどん広げることができる、まさに自分への挑戦そのものです。

トリア大学ではドイツ語(DAF)と正規科目の英語(Grammar, English1)を履修しています。授業以外では週に2、3回、勉強のパートナーである「タンデムパートナー(ドイツ人学

生)」と一緒にドイツ語を勉強する時間を作ったり、積極的に自分から外へ出て、できるだけドイツ人と話しをする機会を作るようにしています。

ここは、海外留学を考えている人にとってとても良い環境だと思います。なぜなら、ドイツ人はとてもおしゃべり好きだからです。街へ出ても必ず誰かと仲良くなります。知らない人でも挨拶の後、話しかけてきてくれるので、私も自分から話しかけやすいです。地元の人と話しをすることで、新しいことを知ることもでき、と

ても楽しいです。それにドイツ人は英語も上手なので、英語力も同時に向上させることができます。今は、同じ寮に住むアメリカ人の学生と英語で会話をしたり、時間が少しでもあれば映画鑑賞(ドイツ語/英語)をしたり、英語とドイツ語の両方で書かれている本を読んだりして、できるだけドイツ語と英語の両方を向上させるように努力しています。留学生活も残り半年となりましたが、今自分のできることを一生懸命し、失敗を恐れずに挑戦して、ドイツでさらに新しい自分にたくさん出会いたいです。

3. “今、アジアが熱い！”～アジアで活躍する卒業生たち

谷野 俊介 (2009年外国語学部卒業)

い きなりですが、日本語教師と聞いてどんなイメージが思い浮かびますか？日本語だからといって侮ってはいませんか？私はOGU在学中に副専攻として日本語教員養成課程を履修しました。正直、私も母国語である日本語を侮っていて、授業も興味本位で受講しました。しかし、授業を受けている間にどんどん言語の奥深さに興味をわき、もっと学んで日本語教師として働きたいと思うようになりました。学生時代は授業が終わった後、日本語を教えるボランティア団体に登録をし、そこで少しでも多くの経験を積もうと頑張りました。その成果もあったのか、OGU卒業後すぐに神戸にある日本語学校で教師の仕事に就くことができました。

神戸の日本語学校で働いたのは、わずか1年でしたが、毎日死に物狂いでした。ボランティアで経験を積んでいたと言っても、大人数の学生を相手に教えた経験がなかったので、授業準備、実際の授業の進め方、学生管理などが本当に大変で、一日3時間寝られたら良い方で、寝ないで授業をしたこともありました。また、私は人見知りしがたく、最初は学生の目を見ることもできませんでした。思い通りに授業ができず、悔しくて、辛くて、「教師なん

かやめたい」と思ったこともありましたが、しかし、「あいうえお」もわからなかった学生が少しずつ上手になっていくのを感じ、一生懸命頑張っている学生たちから力をもらい乗り切ることができました。良いこと悪いことを含め、多くのことを学び一年で大きく成長できたと思います。そして、改めて外国人に日本語を教える楽しさを感じました。今度は、その経験を生かして海外で働こうと思い、拠点を韓国に移しました。

在学中にアメリカへの留学経験があったおかげか、韓国での生活は思っていたよりも大変ではありませんでした。韓国語も、韓国文化も全然勉強しないままこちらに来たのですが、学生や友達に助けをもらいながら、特に困ったこともなく今まで過ごす事ができました。また、日本人はよく親切だと言う話を聞きますが、私の経験から言うと韓国人の方が情や義理があるように思います。実際にその国に行かなければ見えないことも数多くあるでしょう。それは、良い面も悪い面も見ることになりますが、それが異文化を理解する上で大切なことだと思います。

今後は、日本と韓国での経験を活かして、JICAの青年海外協力隊に応募しようと思っ



(上) 神戸の日本語学校の学生たちと(本人前列中央)
(下) OGUに来ていた韓国人留学生たちと再会(本人左端)

ています。以前の私なら、自分は英語ができないから、能力がないからと、応募するのを諦めていたかもしれませんが、今は「考えるより行動しよう！」と思えます。あれこれ考えるだけでは何もできません。勇気を持って前に進むことが大切です。自分には留学や外国に行く能力がないからと言って諦めず、一步一步自分ができることをやってみてください。結果だけを求めず、その過程を大切に、頑張ってください！

栗國 恵美 (2008年短期大学卒業)

自分分をあきらめない。これは私の大切にしている言葉です。現在台湾の靜宜大学の英語・英文学・言語学学部で正規留学生として勉強しています。大阪学院短期大学を卒業後にOGUで職員として3年間働いた後、この留学のチャンスをいただきました。現在台湾に来て半年目(2012年2月現在)になります。留学が決まった時はとても嬉しかったで

すが、初めて行く場所だったのと、語学力が十分ではなく、知識も殆どない状態で出発したので、正直不安の方が大きい留学生活のスタートでした。今でこそ友達も増え、生活や言葉にも徐々に慣れてきて、日々充実していますが、到着後の3ヵ月ほどは戸惑いと不安、そして緊張の連続でホームシックにもなり、留学の大変さを肌で感じて、大阪に帰りたくなることが何度も

ありました。でも、ずっと行きたいと思っていた留学、勉強したかった英語と中国語が両方学べる環境、それを絶対にあきらめたくないと思ひ、とにかく自分から動いていくことに決めました。

私は元来人見知りしがたく、内気でなかなか自分の意見も言えない性格でしたが、思い切って自分から一歩踏み出してみることで周りの世



界が以前と違って見えるようになりました。また、今まで大阪で過ごしてきた生活と全く違う環境に飛び込んでみて、新しい自分に出会い、もっと自信が持てるようにもなりました。

また台湾という場所も「自分にぴったり！」と感じられ、素晴らしい出会いや出来事に溢れていて、最初に感じた大きな不安が嘘のように消えていきました。人との交流、普段の生活を通して体験することはどんなことでも勉強になります。さらには一つ一つが経験として自分の一部になっていく喜びがあり、本当に毎日幸せを感じています。まだまだ語学力は十

分ではないので不安も多少ありますが、次の学期も何事にも一生懸命取り組んで、充実した台湾での生活を送りたいと思います。

「自分をあきらめない」ことが将来出会いたい自分、なりたい自分に近づく秘訣であり、自分を変えるために必要であることを台湾での生活を通して知りました。経験はお金で買えないという言葉の意味も、現地に来て初めてわかりました。OGUで学ぶ皆さんにも是非今の私と同じ気持ちを感じてもらいたいです。そして、再び日本に帰国する時には、絶対「なりたい自分」になって帰ってきたいと思います！



(上) 台湾人の学生と(本人左)
(下) 台湾の夜市



4. 私のOGU生活：李宜軒(台湾・文藻外語学院)



OGUの岸辺祭でブースのPR

文藻外語学院には日本語が上手い学生が多いため、実は交換留学生に選ばれるのはとても難しいことです。最初は友達から誘われて応募しましたが、書類の準備が大変で、途中であきらめそうになりました。でも、やはりあきらめるのは嫌だと思い、一生懸命がんばったら、意外にも3位の成績で合格することができました。この経験を通して、初めから無理だと思ったら何もできない。でもあきらめなければ何でもできると思いました。

日本での留学生活が始まってから一番大変だったのは、母が何でもしてくれていた生活から、すべて自分でしなければいけない生活になったことです。自分の作った料理が不味

すぎて、やせた時期もありました。精神的にも強くないと留学生活はやっていけません。辛かった時も「母のお金で勉強をさせてもらっているから、泣いている暇はない。色々なことを体験して、お金以上のものを得よう」と自分を励ましながらんばりました。また、そんな時に助けてくれたのは、文藻から一緒に来ていた先輩たちでした。いつも心の支えになってくれた先輩たちにとっても感謝しています。

日本に来る前にスコットランドに短期留学をしたこともあり、他の国の学生たちと一緒に勉強をすることには慣れていました。でも日本に来て、さらに自分が成長するために日本語以外にもできるだけたくさん留学向け専門科目を履修して、アジアだけでなく、ヨーロッパやアメリカなどから来ている留学生たちと一緒に授業を受けました。その留学生たちと接する中で、自分とは違う視点があることに気づき、以前よりもっと広く世界を見ることができるようになった気がします。OGUの国際交流プログラムは、国際的な感覚を身に付けるにはとても良いと思います。

自分の国とは違う環境にいるのだから、大切なはずずっと部屋や図書館で勉強することではなく、自分の国ではできないことを体

験するということです。それこそが本当の留学の意味だと思い、私がトライしたのはOGUの陸上競技部への入部でした。クラブに参加すると、短距離部門は私以外全員男子学生で、最初はなかなか話しかけてもくれず、寂しい思いもしました。でも、毎日練習をがんばり続けたら、だんだんと仲間に入れてもらえるようになり、最後には監督を含め、クラブの先輩たちにとってもかわいがってもらいました。これも留学の忘れられない思い出です。

日本での留学生活は、最初はとても大変でしたが、この留学のおかげで、短い時間であっても精神的にも、生活面でもずいぶん成長できました。こんなすばらしい機会が得られたのは本当に幸運だと思います。

私には夢があります。文藻外語学院を卒業してから日本の大学に入ることです。私は芸術に興味があるので、台湾より展覧会に行ったり、芸術に触れたりする機会を多く持つ日本は天国です。これからもいつかの夢を叶えられるようがんばっていきます！



日本語クラスの先生とクラスメートたちと(本人前列中央)

5. 今後の短期留学生受入れプログラム

2012年5月14日(月)から5月25日(金)までの2週間、「春期日本文化短期プログラム」が実施されます。昨年に引き続き、カナダ・メディソンハット大学とタイ・コンケン大学からの留学生が参加し、彼らは日本語や日本文化だけでなく、ビジネスやホスピタリティについても学びます。今回は、京都や奈良への観光に加えて、新たに1泊2日で高野山を訪問します。日本仏教の聖地の一つ

である高野山を訪れる事は、留学生にとってとても興味深い文化体験になるでしょう。

さらに6月初旬から7月初旬にかけては、「夏期日本語短期プログラム」が実施されます。このプログラムには、アメリカ・ミシシッピ大学、韓国・スンチョンヒャン大学、中国・広東海洋大学からの学生たちが参加する予定です。今回は、初めて1泊2日の広島への学外研修が含まれており、世界遺産である原爆

ドームや宮島を訪れる予定です。

OGUでは、提携大学から長期の交換留学生を受け入れるだけでなく、上記で述べたような様々な国からの短期留学生も定期的に受け入れています。OGUにいながら世界に触れることができる、留学生との交流のチャンスを活用し、グローバルな視野を身につけましょう！短期留学生たちと交流したい学生は、国際センターまで！



6. I-Chat Lounge TOEIC Center新設

I-Chat Loungeに新設されたTOEIC CenterはTOEICを受ける準備のために、いつでも立ち寄って、英語の勉強ができる場所です。TOEICのための勉強は、一人でやっている、時としてとてもフラストレーションを感じるものです。ですから、I-Chat Loungeは学生に勉強をする場所だけでなく、勉強を始めるきっかけを提供したいと考えています。TOEIC Centerでは、様々な英語のスキルを向上させるための練習問題、聴解を向上させるためのリスニングセンター、テスト結果を理解するためのガイドラインなどを準備しています。それぞれのセクションでどれぐらいの点数が取れているのか、今後どの部分の点数を伸ばすための勉強が必要なのかなどを知ることが、テストに向けて準備をする上でとても重要になってきます。

学生たちは、TOEICを実際に受けて、初めてそれがどれだけ難しいかがわか

るのではないのでしょうか。これは、TOEICが様々なレベルの能力を測るテストだからです。もし学生がどのレベルを目指し、何点を目標にしているのかわかれば、どのエリアを重点的に勉強すべきかがはっきりしてきます。TOEIC Centerでは、学生に到達したい目標点を設定し、その点数を取得するための勉強をするようにアドバイスしています。各セクションの問題形式に慣れれば、テストを受けていても、焦らずテストに臨め、自然に結果が出てくるものです。

OGUにしかないこのTOEIC Centerは、就職活動のためにテストの点数を上げたいと考えている学生、英語での面接のスキルを向上させたいと考えている学生、あるいは交換留学へ出願しようとしている学生たちに良く利用されています。さらには、初めてテストを受験するので少しでも良い点数を取りたい学生、ゼミの担当教員に薦められて来た学生、



自分の英語力をキープして、さらに向上させたいと考えている交換留学からの帰国生たちも利用しています。

I-Chat Loungeは月曜から金曜の午前10時から午後5時まで利用可能です。この時間帯であれば、I-Chatのスタッフが練習問題の答え合わせや、問題の解説をすることができます。スタッフ一同、この新しいTOEIC Centerで皆さんにお会いするのを楽しみにしています。

(I-Chatスタッフ A.J.ヴァスケス)

7. 2012年度夏期海外研修募集！

2012年度の夏期海外研修の詳細が決定しました。今年度は以下の5つのプログラムを実施します。

- ① カナダ・メディソンハット大学 英語研修
- ② フィンランド・ハーガヘリア応用科学大学 英語研修
- ③ ドイツ・トリア大学 ドイツ語研修
- ④ 韓国・ペジュ大学 韓国語研修
- ⑤ 台湾・文藻外語学院 中国語研修

ここでは、特に新しく実施が決まった2つのプログラムを紹介します。まず、フィンランド・ハーガヘリア応用科学大学での英語研修です。このプログラムの特徴は、英語とフィンランド語のレッスンに加え、ビジネススキルの習得を目的とした英語によるプロジェクト型授業が受講できることです。この授業では、参加者が自分の能力や適性、性格などを分析しながら、人材管理の方法を学んでいきます。ビジネススキルを身に付ける事は、今後の就職活動に必ず役に立ちます！もう一つは、台湾・文藻外語学院での中国語研修です。このプログラムでは、3週間で39時間の充実した中国語レッスンに加え、週1回2時間の補習授業があります。この補習授業は、午前の中国語レッスンで理解できなかった点を、文藻

外語学院日本語学科の学生さんたちが個別で指導してくれます。そのため、中国語初級者でも着実に中国語を習得することができます。

自分には語学力がないから、資金がないからと海外研修の参加を諦めていませんか？海外研修は、語学力に自信がなくても参加できます(一部例外あり)！また、提携大学が授業料を免除してくれる場合もあるので、比較的安い費用で参加できるプログラムもあります。興味のある学生は、国際センターに来てください！

申込締切: 2012年5月11日(金)



(上) カナダ・バンフ国立公園
(下) フィンランド・ヘルシンキの港

8. 国際センター News

- 1) 国際センターの国際交流プログラムに参加している海外からの留学生たち59名が、5月にプログラムを修了します。それを受けて、5月12日(土)に修了式とフェアウェルランチを開催します。

1. 国際交流プログラム修了式

時間: 午前11時~午後0時

場所: 01-B1-02教室 (1号館地下1階)

2. フェアウェルランチ

時間: 午後0時30分~午後1時30分

場所: キャンパス・フード・サービス (12号館1階)

- 2) 「海外留学PRウィーク」開催！

4月16日(月)から27日(金)まで国際センターで開催します。交換留学から帰国した学生から直接話が聞けるブース時間も設けます。詳しくは公式HPにアップされている情報を参照してください。一人でも多くの参加をお待ちしています。

大阪学院大学／大阪学院短期大学 国際センター

〒564-8511 大阪府吹田市岸部南二丁目36番1号

TEL: 06-6381-8434 (代表)

FAX: 06-6381-8499

Email: inoffice@ogu.ac.jp

国際センターBLOG「Taking Off」もご覧ください。
<http://inoffice.blog102.fc2.com/>